

当別町 未就学児教育に力

【当別】町が未就学児の教育に力を入れている。今年、町内の二つの認定こども園で初めて、外部講師を招き体幹を鍛えたり礼儀を学んだりする教室を開いたほか、デジタル人材の育成に向けて2園のタブレット端末購入費も全額補助する。幼児期に幅広い能力の基礎を培うのが狙いだ。

2認定こども園対象に

「背もたれは使わず、腰 年長児を対象に、礼儀作法を立てるんだよ」。講師の言葉を学び体幹を鍛える「マナーキッズ体幹教室」が開かすに座る子どもたち。8月31日、町内の認定こども園「おとぎのくに」と「当別夢の国幼稚園」でそれぞれ、公益社団法人マナーキッズプロジェクト（東京）の



マナーキッズ体幹遊び教室で四足歩行の「クマさん歩き」をする認定こども園「おとぎのくに」の園児たち

礼儀作法、体幹強化、プログラミングも

田中日出男理事長(82)が講師を務め、いすの座り方やお辞儀の仕方のほか、四足歩行の「クマさん歩き」など体幹を鍛えられる遊びを教えた。「おとぎのくに」年長の本條葉月さん(6)は「お辞儀がうまくできるようになった」と笑顔。五十嵐京湖園長(49)は「園でも遊びながら体を鍛えられるように取り組んでいるが、今日学んだ要素も取り入れたい」と話した。

教室はこれまで町内で開かれていたが、対象は小学生だった。今回、年長児を対象にしたことについて、後藤正洋町長は「小さいころに礼儀や体の使い方身に付ければ、成長の土台になる」と話す。

デジタル教育にも乗り出す。町は9月15日の定例町議会で可決された一般会計補正予算案で、2園がタブレット端末を20台ずつ購入するための費用などに約730万円を計上した。このタブレットはプログラミングを学んだり、遊びながら感性を磨いたりできる20のアプリを入れる。

タブレット端末でそろばん式の暗算が学べる「そろタッチ」の無料体験会も、町が費用を負担する形で開催予定だ。町子ども未来課は「早くからタブレットなどに触れることで、デジタル人材の育成につなげたい」としている。(和賀豊)

2023年（令和5年）09月27日（水曜日） 北海道新聞 朝刊

地方創生応援税制を活用した「0歳からの立腰・体幹遊び」と日本の心を伝える諸活動との連携日本再生国民運動事業 当別町第一号モデル

2企業からの企業版ふるさと納税が原資

「0歳からの立腰・体幹遊び」講師養成講習会 兼 講座
マナーキッズ 講師養成講習会シリーズ

怪我をしやすい子供、正しく座れない子供、落ち着きがない子供が増えている。その理由は、姿勢が悪く、「体幹」が育っていないから。体幹の身についた子供は、美しい姿勢になり、運動能力が高まり、学力も向上する。3歳からでは遅い、0歳から乳幼児・児童の発達に応じた「立腰・体幹遊び」。で、子供の心も体も健康に!! 人間形成の礎石となる「三つ子の魂」を育むことが必須!!



1. 開催日時

- 令和5年10月1日(日)10時~10月10日(火)18時
- 令和5年11月1日(水)10時~11月10日(金)18時
- 令和5年12月1日(金)10時~12月10日(日)18時
- 令和6年 1月1日(月)10時~ 1月10日(水)18時
- 令和6年 2月1日(木)10時~ 2月10日(土)18時
- 令和6年 3月1日(金)10時~ 3月10日(日)18時

この期間中にオンデマンド配信(動画・音声・文書で下記内容を配信します。)しますので、お好きな時間に受講できます。

日本再生てらこや・全国ネットワーク (nihonsaisei-terakoya.org)との連携事業

日本再生こども機構 親子で学ぶ『寺子屋にっぽん』 大切にしたい日本の「礼」と「知」を学ぶ場です。
対象年齢:3歳以上 毎月第一土曜日15時からオンライン開催
お申込みは <https://oyakoterakoya.hp.peraichi.com/>